



## 平成 25 年度 (2013 年度)

# LOOB JAPAN 事業報告書



### ☆ 目 次 ☆

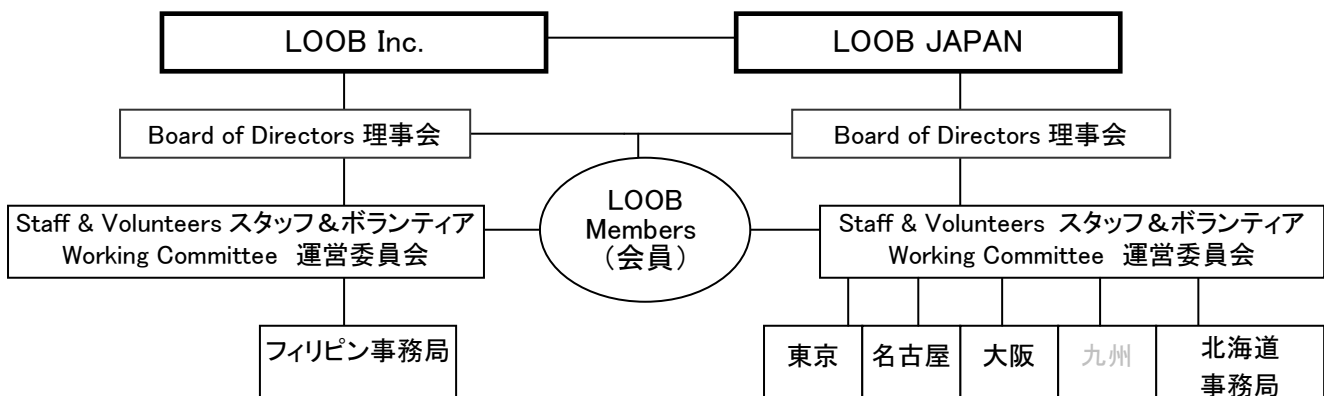
1. 概要経緯
2. 実施体制について
3. 事業に関する報告
  - ① 途上国における国際協力・国際交流・青少年育成プログラムの実施  
(A.ワークキャンプ B.エコ・緑の活動 C.ごみ投棄場支援)
  - ② 途上国の子ども達への教育・医療支援  
(A.教育サポート B.医療サポート)
  - ③ 途上国の困難な状況にある地域・世帯への物資支援  
(A.物資・衣類支援)
  - ④ 国際理解のための日本文化・海外文化の普及  
(A.英語研修 B.日本文化紹介)
  - ⑤ 国際協力および国際交流のための募金活動と広報の実施  
(A.国際協カイベント B.カレンダー C.現地ユースプロジェクト)
  - ⑥ ニュースレターの発行

## 1. 概況経緯

2001年にフィリピン・イロイロ市を拠点に設立されたNGO LOOBは、活動13年目となり、日本側の任意団体 LOOB JAPAN の活動も軌道に乗ってきました。今年も子どもの教育支援活動を中心に、日比の青少年育成事業に注力しました。この報告書は現地NGO LOOBと日本の LOOB JAPAN の活動を網羅しております。多くの方々に私たちの活動を知って頂ければ幸いです。

## 2. 実施体制

LOOB Organizational Chart (2013年12月現在)



### 【LOOB JAPAN】

- ・専従スタッフ 小林幸恵 (LOOB JAPAN/LOOB Inc 代表理事@フィリピン)
- ・非専従スタッフ 菅野梢子 (LOOB JAPAN 理事@東京)
- ・理事 林恵美、高橋愛実、前田友香、玉井義孝、松熊千尋、東賢太郎、段林功一郎
- ・監事 珍田亮
- ・コアボランティア (関東約10名、関西約10名、中部約10名で構成)
- ・会員数 252名 (うち正会員数 25名)

### 数字で見る 2013年のダイジェスト

- 16回** 日本国内で実施した国際協力系イベント出展回数
- 73名** 教育サポートを受けた LOOB キッズ奨学生の数
- 11回** キャンプ&ツアー&キッズキャンプの実施回数
- 201名** キャンプ&ツアー&研修に参加した日本人の数
- 約700人** 日本人と交流したフィリピンの子ども達の数
- 103万円** LOOBとULCAのフェアトレード取引額
- 500部** LOOBで完売したカレンダー部数
- 39回** 3地域で実施した週末アクティビティの総数



### 3. 事業に関する報告

#### ① 途上国における地域協力・国際協力事業

##### (A) ワークキャンプ、スタディツアー事業

<http://www.loobinc.com/wc01.html>



LOOBが実施するワークキャンプは、日本とフィリピンの各地から集まった青年ボランティアが、提携するコミュニティの一般家庭にホームステイしながら友好を深め、地域の課題を住民と共に学び、小規模インフラ整備/環境改善/子ども達のための活動を通して地域に貢献するプログラムです。2013年は、7つの提携バラングイで、計11回のワークキャンプ（うち3回はスタディツアー受入のみ）を実施し、日本から154名、フィリピンから約100名の参加者を受け入れました。

### 2013年に実施したワークキャンプ&スタディツアー事業

- 大阪教育大学 MERRY03 ワークキャンプ（2013年2月16-3月2日 参加者23名）
- ALPHA 学校教室建設ワークキャンプ（2013年3月5日-11日 参加者17名）
- JOLYBEE ワークキャンプ（2013年3月16日-26日 参加者7名）
- リーダーシップトレーニング&無人島キッズキャンプ（2013年4月30日-5月5日 10名）
- 北見藤女子高等学校語学研修（2013年7月19日-8月3日 参加者6名）
- 創価大学 SCN 学校教室建設ワークキャンプ（2013年8月1日-12日 参加者：19名）
- ALPHA 学校教室建設ワークキャンプ（2013年8月11日-25日 参加者20名）
- 第50回 LOOB ギマラス島エコワークキャンプ（2013年8月24-9月6日 参加者10名）
- 立命館大学 RICOPPINE スタディツアー（2013年8月28日-8月31日 参加者12名）
- 北海道大学 YOU & I スタディツアー（2013年9月5日-7日 参加者12名）
- ISAP04 ワークキャンプ（2013年9月8日-15日 参加者18名）

## What's Workcamp?

ワークキャンプとは、ある地域共同体の中で、一定期間を一緒に生活し、村の課題解決に貢献するプログラムです。異なる地理的、文化的、社会的背景を持った個人が集まって生活をし、地域社会と相互交流することで、個人・グループ・団体の潜在力を高め、実質的な社会貢献プロジェクトを遂行します。グループダイナミクスによる相乗効果を誘発し、青少年育成と村落開発へのエンパワーメントに向け非常に有効な手法です。



LOOBのワークキャンプは、日本とフィリピンの各地から集まったキャンパーが貧農村・貧漁村・都市貧困区に赴き、コミュニティと共に小規模インフラ/環境改善/子ども達のための活動などに取り組みます。キャンパー達は昼に共同でワークや企画ミーティングを行い、夜はホームステイを通じて現地の方と交流します。互いの文化を学びながら、コミュニティの一部となって活動するのがLOOBキャンプです。物質の提供にとどまらず、二国の青少年が貧困地域の現状を把握し、現地の人々の視点に立ち、実際に貢献活動することで、心の通った交流・協力活動を目指しています。



特に、日本人が「知る」「体験する」ために用意されたスタディツアーとは一線を画し、◇フィリピン人ボランティア ◇日本人ボランティア ◇地域社会(コミュニティ) ◇LOOBスタッフの4者が互いに助け合い、学び合うことを特徴としています。LOOBでは貧困問題を草の根レベルで解決していくには、フィリピン人のエンパワーメントが最も重要であると考えているからです。

この考えに基づき、2013年も約250名の日比青年の参加によって、フィリピンの貧困地域における国際協力事業を実施しました。





## (B) エコ&グリーン活動

<http://www.loobinc.com/mangrove.html>



LOOBでは2006年にギマラス島で発生した重油タンカー沈没事故をきっかけに、同島南部の海洋保護地区での環境保全と住民の啓蒙を行っています。

### 《マングローブの森を再生する》

2013 年は、ギマラス島ヌエババレンシア町で計 2,500 本のマングローブ植林を行い、2007 年 8 月から通算 17 回で累計植樹数は、108,235 本となりました。フィリピン天然環境資源省 (DENR) が目標とするマングローブ回復面積 83,000 ヘクタールのうち、約 10.8 ヘクタールを LOOB で寄与した計算です。

### 《ごみ山を緑の山に》

2013 年 3 月には、ワークキャンプ中の活動として、イロイロ市投棄場でのアカシア等の 100 本の植林活動は実施しました。2011 年からの累計は 550 本となりました。



## Close up! 子どもの環境教育 第 9 回キッズキャンプからスタッフ報告♪

「GW の無人島キッズキャンプには 3 地域から子ども達 40 名とフィリピン人リーダー 5 名、日本から 10 名のリーダーが参加しました。キャンプ目標は、環境教育とリーダーシップトレーニング。テーマは“Count Me In : To Revive and Protect What’s Given” (自分の行動に責任を持って神様から与えられた環境をよみがえらせ、守っていこう) でした。リーダー達は子ども達より一足先にギマラス島へ行き 3 日間ホームステイを経験した後、いよいよ参加者の子ども達を迎え入れ、無人島で 1 泊を過ごしました。照りつける太陽の下、グループ対抗の様々なアクティビティで一緒に汗をかき、夜は満天の星空の下、キャンプファイヤーをみんなで囲みながら歌ったり踊ったり…。青い海と白い砂浜で子ども達と自然に親しみ、あっという間でしたがたくさんの笑顔に包まれたキャンプでした！」



## (C) カラフナンごみ投棄場周辺住民支援事業

<http://www.loobinc.com/sm01.html>



イロイロ市カラフナンごみ投棄場での活動は7年目となりました。今年は大人の生計支援プロジェクトであるフェアトレード事業で新しい試みを行うことができました。

### «UCLA の裁縫メンバーをサポート»

ごみ投棄場のウェストピッカー住民組織 Us wag Calajunan Livelihood Association (UCLA)では LOOB の支援でジュースパック製品および紙ビーズ製品を製作しています。2013 年は製品買入額が約 140 万円となりました。UCLA の受注額の約 9 割です。LOOB での製品販売は日本国内が 9 割以上となり、フィリピン現地での販売は 10%未満でした。

### Close up! ファッションイベント UniECO からスタッフ報告♪

「もっともっと、この素敵な製品をフィリピン国内で普及したい! ということで、フェアトレード月間である 5 月には Uni qECO と題したファッションショー (1 日目) およびモデル撮影会 (2 日目) を開催しました。イベントには大学生の頃から LOOB の活動に参加し、Miss Oriental Tourism や Miss intercontinental に出場経験もある Nanami さんが日本から参加してくれ、さらに現地のモデル、プロのカメラマン、衣装屋さんも有志で協力してくれました。



1 日目は海辺のリゾートでのファッションショー。カラフナンの生産者の子ども達にもモデルとして出演してもらうため、前日に Nanami さんがウォーキングやポージングの指導し、



オーディションで 10 名が選ばれました。美女モデルと子どもモデルが次々とジュースパック製品を持ってランウェイを歩くと、リゾート内にいた人たちも興味を持ってくれて見に来てくれました。



2日目は、イロイロ市内のモロ教会やエスプラナードという川沿いのきれいな歩行者天国で製品の撮影会を行いました。この時にプロの方に撮ってもらった写真を使って LOOB のフェアトレード促進用カタログも作成することができました。



2日間のイベントを通じて、フィリピンの方々にリサイクル・ジュースパック製品を知ってもらうことと、自然環境や子ども達の置かれている現状に目を向けてもらえたようです。」

## Close up! キャパシティビルディング・キャンプからスタッフ報告♪

「6月にはジュースパック製品の製作と販売に関わる3つのグループで、2泊3日のキャパシティビルディングセミナーを実施しました。



参加したのは、私たち LOOB のスタッフ&ボランティアメンバーと ULCA 裁縫チーム、イロイロ市公共サービス局 (GSO) 職員の方々です。チームビルディングで三者の結束をさらに強めながら、普段の業務で抱える課題や解決方法をみなで共有するというセミナーでした。

最終日には、実際に裁縫技術を向上させるセミナーを行い、新しい若手メンバーを追加することができました。」

## «UCLA チャイルドマインディングの運営»

2013年は、これまで週3回だった学童の時間を月曜日から金曜日までの週5回に拡大しました。これは、裁縫メンバーやごみ投棄場で働く人々の子どもを夕方の時間に預かる無償託児サービスです。子ども達が安全に、かつ学びある有意義な時間を過ごすことができるよう、LOOBの日本人・フィリピンユースメンバーが協力して毎回約20~30人を対象に活動しています。この学童を実施することで、子ども達の危険を回避することができるだけでなく、LOOBユースメンバーとカラフナンの子どもの重要なコミュニケーションの場となり、さらにこれが LOOB とカラフナン全体のスムーズな関係構築にも役立っています。



## ② 途上国の子ども達への教育・医療支援事業

### (A) 子ども教育サポート

<http://www.loobinc.com/edu01.html>



フィリピンの小学生は4人に3人、高校生では2人に1人しか卒業できないほど、ドロップアウト率が問題になっています。子どもの就学から卒業までを応援するため、LOOBでは3つの地域で「経済的な理由で学業の継続が困難であり、卒業に意欲的な子ども」を対象に教育サポートを行っております。

2013年は、教育サポート会員とチャリティイベントやカレンダー販売の収益から計**73名**の小学生、高校生、大学生を支援しました。

#### 《学資援助》

- ギマラス島ヌエバレンシア町 (9名)
- パナイ島ナムコン村 (10名)
- イロイロ市カラフナン地区 (51名)
- 大学生 (3名)

**合計73名支援**



#### 《子ども英語アクティビティ》

この活動は、子ども達の英語力・表現力・社会性・ライフスキルを伸ばすため、3つの地域で毎週土曜日に行っている青少年育成・野外活動です。LOOBの教育サポートの対象となった子ども達は参加必須としています。また教育サポートの対象とならなかった兄弟や近所の子ども達も広く受け入れています。日比のボランティア10名ほどが企画から実施、評価までのプロセスを行っています。2013年は計36回のアクティビティを実施しました。



**(B) 子ども医療サポート** <http://www.loobinc.com/med01.html>

《竹の義足基金》

アンヘリト君の竹の義足の提供はありませんでした。それ以外の医療サポートの新たな対象者はいませんでした。

③ 途上国の困難な状況にある地域・世帯への物資支援事業

**(A) 物資・衣類寄贈**

2013年11月8日にビサヤ地方を襲った台風30号(フィリピン名ヨランダ)は、死者6,201人、行方不明者1,785人(ともにフィリピン国家災害リスク削減委員会NDRRMCの1月14日付データ)に上る被害をもたらしました。特にレイテ島などがある東ビサヤ地方の被害が最も大きく5,803人に上り、次いでLOOBが活動する西ビサヤ地方で294人が亡くなりました。この台風で、漁業・農業などの第一次産業を生活の糧にする多くの住民の生活が破壊されました。



LOOBでは11月14日に募金をスタート。3月末までの間に163名の個人から668,100円、13の団体から1,109,375円のご寄付を頂き、合計金額が1,777,475円(728,764.75ペソ)となりました。LOOBではユースボランティア2名の出身地で、地元行政と繋がりがあったパナイ島イロイロ州コンセプション町に焦点を当て、学校教室3棟、ボート修復、農家への種子配布などの被災地支援を実施することができました。



詳しくはネット上で公開している最終報告書もご覧下さい：

<http://www.loobinc.com/doc/yolanda.pdf>

④ 国際理解・青少年育成事業

**(A) 英語研修&ソーシャルアクション** <http://www.loobinc.com/eng01.html>

フィリピン大学(UP) ビサヤのランゲージセンターと提携し、日本人の英語学習者に対して、英語研修やフィリピン文化への理解を深めるための交流プログラムを行っています。申込窓口をLOOB JAPANが担い、実際の運営は現地法人が実施しています。

**(B) 日本文化普及** <http://www.loobinc.com/jp01.html>

1月のイロイロ市最大の祭り、ディナギャン祭りでブースを設け、日本料理の紹介を行いました。

**(C) 国際協カイベント** <http://loobinc.com/charity.html>

LOOB関東、中部、関西、中国のメンバーがそれぞれの地域で国際協力系のイベントに参加し、LOOBの活動広報を通して国際理解を進めました。

- 2月9日～10日 【関東】よこはま国際フォーラム講座開催
- 2月2日～3日 【関西】大阪ワンワールドフェスタ出展
- 3月23日～24日 【関西】大阪ハッピーアースデーに出展@久宝寺緑地
- 4月20日～21日 【関東】アースデー東京2013に出展@代々木公園
- 5月4～5日 【関西】アースデー神戸2013@みなとのもり公園
- 5月11日 【中部】世界フェアトレード・デー名古屋に出展@名古屋TV塔
- 5月26日 【中部】フェアトレードデイ垂井に出展@岐阜県不破郡垂井町
- 5月28日 【関西】LOOBプログラム説明会
- 6月8日 【関東】全国NGO「濃い旅」博覧館@日本大学法学部・水道橋キャンパス
- 6月19日 【関東】LOOBプログラム説明会
- 6月22日 【関西】NGO合同説明会@龍谷大学 大阪梅田キャンパス
- 10月5～6日 【関東】グローバルフェスタ@日比谷公園
- 10月12日 【北海道】オホーツク国際ふれあい広場2013
- 10月19～20日 【関東】よこはま国際フェスタ@象の鼻パーク
- 10月26～27日 【中部】ワールド・コラボ・フェスタ@名古屋
- 10月26～27日 【中国】山口県周南市のんた祭り
- 11月2～5日 【関西】大阪教育大学神霜祭@柏原キャンパス

**(B) 説明会・交流会・広報活動**

LOOB独自のプログラム説明会を2回、他団体と合同説明会を1回実施し、現地フィリピンでの交流&支援活動について広報を行いました。



**(C) カレンダープロジェクト**

[http://www.loobinc.com/form\\_calendar.html](http://www.loobinc.com/form_calendar.html)

2013年暮れに「Beauty in Fair Trade」というフェアトレードをテーマで LOOB2014年カレンダーを作成、販売し、500部を完売しました。販売した収益で2014年度14名の子どもの就学を支援します。

**⑤ ニュースレターの発行**

1月と7月の2回「LOOBニュースレター」を発行しました。約200人の会員に配布するとともに、ホームページ上でもPDF版を無料配布しました。

以上、2013年にLOOBの活動を支えて下さった全ての方々に心より感謝申し上げます！

LOOBスタッフ&メンバー 一同